




## 4 消火器の使い方

火事は、炎の小さい初めのうちなら、みんなで協力すれば、消すことができます。そのためには、普段から、水のくみおきや消火器の使い方をよく覚えておくことが大切です。

### 消火器の種類

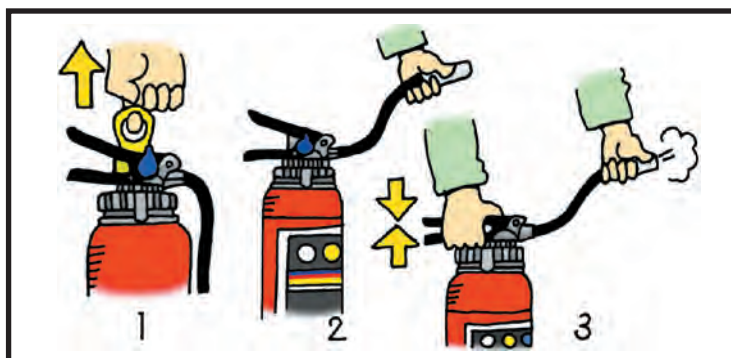
消火器は、燃えているものによって使えるものと、使えないものがあります。どの火事に使えるかは、絵表示によって表されています。

	<p>ふつうかさい <b>普通火災</b></p>	<p>もくざい かみ ぬの かじ <b>(木材、紙、布などの火事)</b></p>
	<p>あぶらかさい <b>油火災</b></p>	<p>あぶら とうゆ かじ <b>(てんぷら油、灯油、ガソリンなどの火事)</b></p>
	<p>でんきかさい <b>電気火災</b></p>	<p>でんき きかい きぐ も かじ <b>(電気の機械や器具が燃えている火事)</b></p>

### 消火器の使い方

燃えている物から3～5メートルくらい離れた安全な場所から消火します。

- ① 黄色い安全栓を抜く。
- ② ホースをはずし、ノズルの先をしっかりと持って、火元に向ける。



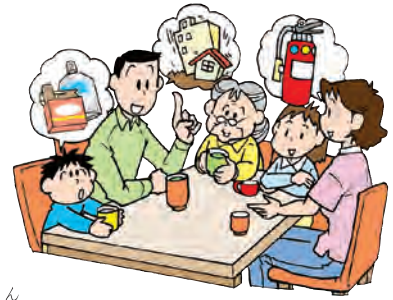
- ③ レバーを強く握る。(固い時は体重をかける)

※炎が天井にとどいていたら、消火器では消すことができません。すぐに避難してください。

※サビたり、キズがある消火器を使うと破れつする危険があります。古い消火器は絶対に使わないでください。

## 5 地震から身を守るには

### 地震が起こる前は



家族みんなで話し合しましょう。

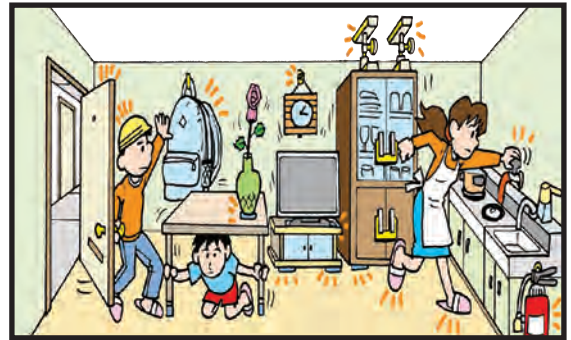
家族との連絡方法や避難場所について確認しましょう。

家の中に危険な場所はありませんか？

家具が倒れないよう、固定されているか確認しましょう。



減災行動しないと...



減災行動していると...

### 地震が起きた時は

学校にいたら

- ・ 頭巾があればそれをかぶり机の下へかくれ、落ちてくる物から身を守りましょう。
- ・ 校庭や体育館にいる時は、中央に集まるようにしましょう。
- ・ 先生の指示にしたがいましょう。



家の中にいたら

- ・ テーブルやベッドなどの下へかくれ、落ちてくる物から身を守りましょう。
- ・ あわてて外へ飛び出さないようにしましょう。
- ・ 逃げ出すための扉を開けておきましょう。
- ・ 2階にいるときは、階段をかけ下りたり、窓や屋根から飛び降りることはやめましょう。
- ・ 調理中のコンロから離れましょう。

